

神奈川県自然環境保全センターに保護された傷病鳥獣の記録 (2003年度)

川端光宏*・露木三津夫*

Records on Rescued Wild Animals at Kanagawa Prefecture Natural Environment Conservation Center (2003.4 - 2004.3)

Mitsuhiro KAWABATA* and Mitsuo TSUYUKI*

要 旨

川端光宏・露木三津夫：神奈川県自然環境保全センターに保護された傷病鳥獣の記録(2003年度) 神奈川県自環保セ報告2：21-28, 2005 2003年4月1日から2004年3月31日まで神奈川県自然環境保全センターに保護された傷病鳥獣の記録について取りまとめた。保護件数は、鳥類649件、ほ乳類124件、合計773件であった。保護件数は過去10年間横ばい傾向と思われた。保護件数で上位を占める種の傾向および保護原因の傾向には大きな変化はないと思われた。生体で持ち込まれた個体のうち、放野することができたものは、鳥類31.9%、ほ乳類38.1%、全体では32.8%であった。

キーワード：傷病鳥獣、保護件数

I はじめに

神奈川県自然環境保全センター(以下センター)では、昭和53年の開設(当時神奈川県立自然保護センター)以来、傷病鳥獣の保護業務を行っている。これまで自然情報には、年毎に記録を集計して報告してきた。しかし、通常業務等に使用する数字は全て年度ごとに集計したものをを用いている。神奈川県では横浜市の動物園、神奈川県獣医師会、横浜市獣医師会、川崎市獣医師会とも協力して傷病鳥獣保護業務に取り組んでおり、県内で統一した様式で記録を取っている。これらも全て年度毎に集計している。こうしたことから、年度毎に集計した方が有効性、汎用性が高いと判断されるので、今回の報告から、年度毎の集計数字を用いることとした。

II 方 法

2003年4月1日から2004年3月31日までセンターに保護された傷病鳥獣の記録について取りまとめた。現状考察のため、一部過去のデータを付記した。巻末には、とりまとめの対象となった鳥獣とその保護された市長村別内訳を附表1とした。保護件数の多い表3の鳥類8種とムクドリ、ハシブトガラス、ハシボンガラスの3種は割愛した。また従来からの取りまとめ方法から外れる2003年1月1日から2003年3月31日までのすべての鳥獣の月別保護件数と保護された市町村別内訳を附表2とした。

III 結 果 (保護実績)

1 保護件数とその推移

2003年3月1日から2004年3月31日までの保護

*神奈川県自然環境保全センター自然保護公園部野生生物課(〒243-0121 厚木市七沢657)

件数は、鳥類 649 件、ほ乳類 124 件、合計 773 件であった。表 1 に 2003 年度を含めた過去 10 年の保護件数を示した。保護件数が過去最高を示した 1996、1997 年度（ともに 929 件）に比べ、2003 年は 83.2% と減少が示唆されたが、人為的な変動要因が考えられるドバト・カラスの保護件数と、へい死体件数を除くとこの 10 年間は横ばい傾向であった（表 1）。

2 保護鳥獣の種類

2003 年度に保護された種類は鳥類 66 種、ほ乳類 10 種であった。種類別月別保護件数内訳を表 2 に、1998～2003 年度の保護件数上位 10 種を表 3 に示した。

3 保護された市町村

市町村別保護件数内訳を表 4 に示した。

4 保護原因とその転帰

過去 5 年間の保護原因別頭羽数を表 5 に保護原因別転帰内訳を表 6 に示した。転帰の基準日は 2004 年 3 月 31 日とした。生体で持ち込まれた個体のうち、放野することができたものは、鳥類 31.9%、ほ乳類 38.1%、全体では 32.8% であった。

表 1 傷病鳥獣保護件数の推移

年度	保護件数	①	ドバト	ハシブト ガラス	ハシボン ガラス	へい死体
1994 年度	853	729	95	9	17	3
1995 年度	845	687	92	14	22	30
1996 年度	929	718	125	12	12	62
1997 年度	929	738	90	15	20	66
1998 年度	920	796	47	9	13	55
1999 年度	908	800	28	5	4	71
2000 年度	840	698	46	13	12	71
2001 年度	890	696	68	16	13	97
2002 年度	854	693	57	25	6	73
2003 年度	773	665	48	10	9	41

①：保護件数よりドバト、ハシブトガラス、ハシボンガラス、へい死体を除いた数

IV 考 察

2003 年度保護件数は、過去最高を示した 1996、1997 年度（ともに 929 件）に比べ、773 件（83.2%）と減少が示唆されたが、保護件数の中で、ドバト・カラスについては 1998 年 4 月より人間生活や生態系に与える影響、生息数の著しい増加等を考慮し、子供の教育上やむをえない場合等を除き、原則として保護していない。したがって 1998 年度以降はやむを得ず収容した数であり、それ以前は制限なく収容した数である。

また、へい死体数には、2000 年度からニホンジカ保護管理のデータ収集のため、交通事故等による死体をサンプルとして積極的に収容しており、この数を保護件数に含めている年度がある。よってこれらは人為的な変動要因があり、各年度によって一定した数字にならないため保護件数より除いてみると、この 10 年間保護件数は 700 前後と横ばいで推移している。

1998、1999 年度は保護件数が多いが 1999 年度については、サギのコロニーが開発によって壊されたために多数のコサギ、ゴイサギのヒナが保護されたためと推察される。1998 年度については、例年 90 羽前後の保護数であるツバメが 150 羽保護されているためなどが考えられた。

センターに保護される鳥獣で、保護数で上位を占める種の傾向は、特に大きな変化はないと思われる。1999 年度のコサギ、ゴイサギの数が多いのは前述のとおりである。

市町村別保護件数にはバラツキがある。神奈川県内にはセンターの他に、横浜市立の 3 動物園と川崎市に民間施設の計 5 か所の保護施設があり、保護した場所に近い施設に持ち込まれる。したがって川崎市・横浜市とその周辺の市町村の保護件数は少ない結果となっている。

保護原因の傾向には大きな変化はないと思われる。鳥類の保護原因では「巣から落ちる」「転落・衝突」「犬猫等による」の 3 つが 1999 年度から 2003 年度までの 5 年間で、上位 1～3 位を占めた。ほ乳類の保護原因では「交通事故」「伝染病・寄生虫症」がこの順で過去 5 年間 1 位、2 位を占めた。ほ乳類の伝染病・寄生虫症は、ほとんどがタヌキとハクビシンの疥癬症であった。

表2 保護された鳥獣の種類と件数(月別、2003年度)

種類	目名	科名	種名	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
鳥類	アマツバメ	アマツバメ	ヒメアマツバメ	2				1			1						
	カッコウ	カッコウ	カッコウ ツツドリ ホトトギス	2 1 2			1				1 1						
	カモ	カモ	カルガモ キンクロハジロ コガモ	39 1 3			11	17	6	2	1		1		1	1	
	キジ	キジ	ウズラ キジ コジュケイ	1 2 1							1		1			1	
	キツツキ	キツツキ	アオゲラ コゲラ	2 5		2	1	2	1	1							
	コウノトリ	サギ	アオサギ ゴイサギ コサギ ササゴイ チュウサギ ヨシゴイ	5 12 7 1 4 2		1		1	1	1				1		1	
	スズメ	アトリ	カワラヒワ	8		1		6	1								
		ウグイス	ウグイス メボソムシクイ	2 2						1	1						
	カラス	オナガ	オナガ	4					1	1	1		1				
		ハシブトガラス ハシボソガラス	ハシブトガラス ハシボソガラス	10 9	1	4	1		3								1
	シジュウカラ	シジュウカラ	シジュウカラ	11		4	3	1		1	1					1	
	セキレイ	セグロセキレイ	セグロセキレイ	1			1										
		ハクセキレイ	ハクセキレイ	6	1	1	2	1	1								
	ツグミ	アカハラ	アカハラ	3	1											1	1
		シロハラ	シロハラ	1									1				
		ツグミ	ツグミ	5											2	2	1
		トラツグミ	トラツグミ	2											2		
	ツバメ	ルリビタキ	ルリビタキ	1											1		
		イワツバメ	イワツバメ	30		1	9	14	6								
	ヒタキ	キビタキ	キビタキ	2	1					1							
	ヒヨドリ	ヒヨドリ	ヒヨドリ	47	4	1	1	10	9	3	4	1	3	2	5	4	
	ハタオリドリ	スズメ	スズメ	81		26	31	13	6	1		1		2		1	
	ホオジロ	アオジ	アオジ	1		1											
	ムクドリ	ムクドリ	ムクドリ	22	1	5	6	3	1		2				1	3	
	メジロ	メジロ	メジロ	26		2	3	3		1	2	11		2	1	1	
	レンジャク	ヒレンジャク	ヒレンジャク	1												1	
	タカ	オオタカ	オオタカ	5				1				2	1			1	
		ツミ	ツミ	6							1	1		1	3		
		トビ	トビ	7					1	1			2			3	
		ハイタカ	ハイタカ	2								1				1	
	ハヤブサ	ノスリ	ノスリ	3									1	1			
		チョウゲンボウ	チョウゲンボウ	12		1	7	2					1			1	
	チドリ	チゴハヤブサ	チゴハヤブサ	1			1										
		カモメ	ウミネコ オオセグロカモメ	1 1					1								1
	シギ	ヤマシギ	ヤマシギ	2										1		1	
		ヒレアシシギ	アカエリヒレアシシギ	1					1								
	ツル	クイナ	クイナ	1		1											
		バン	バン	3	1					2							
	ハト	アオバト	アオバト	2								2					
		キジバト	キジバト	70	6	5	3	7	11	10	12	9	2		1	4	
	フクロウ	ドバト	ドバト	48	3	4	4	1	10	7	10	1	2	1	1	4	
		アオバズク	アオバズク コミミズク フクロウ	7 1 3				3	2		1	1		1			
	ブッポウソウ	カワセミ	カワセミ	6			1	1	1	2	1						
	ミズナギドリ	オオミズナギドリ	オオミズナギドリ	1				1									
		ハイロミズナギドリ	ハイロミズナギドリ	6			5		1								
	ベリカン	ウ	カワウ	1									1				
	ヨタカ	ヨタカ	ヨタカ	1					1								
	不明	不明	不明	1							1						
			鳥類計	649	26	72	122	127	87	41	49	33	21	18	25	28	
哺乳類	齧歯	リス	ムササビ	2	1					1							
	偶蹄	イノシシ	イノシシ	3		1					1		1				
	シカ	ニホンジカ	シカ	26	4	3	4	4	1	1	1	1	1	1	4	1	
	ウシ	ニホンカモシカ	ウシ	4	1									1	1	1	
食肉	イヌ	タヌキ	イヌ	38	1	2	3	2	2		2	5	9	3	4	5	
	イタチ	アナグマ	イタチ	3	1			1					1				
		テン	テン	1					1								
	ジャコウネコ	ハクビシン	ジャコウネコ	30	3	5	2	2	6		5	2	1	1		3	
翼手	ヒナコウモリ	アブラコウモリ	ヒナコウモリ	16			3	2	2		1		2	4	1	1	
霊長	オナガザル	ニホンザル	オナガザル	1									1				
			哺乳類計	124	11	11	12	11	11	3	10	8	16	10	10	11	
			総計	773	37	83	134	138	98	44	59	41	37	28	35	39	

V 引用文献

栗林弘樹・小田慶磨(2000)伊勢原市で同時期に保護

された85羽のサギ類の飼養記録. 神奈川県立自然保護センター報告17: 33-39

牧野 敬(2002)神奈川県自然環境保全センターに保護された傷病鳥獣の記録(2000年、2001年). 神奈川県自然環境保全センター自然情報1: 47-66

表3 保護件数上位10種

順位	1998年度		1999年度		2000年度		2001年度		2002年度		2003年度	
	種名	点数	種名	点数	種名	点数	種名	点数	種名	点数	種名	点数
1	ツバメ	150	スズメ	89	スズメ	94	ツバメ	88	ツバメ	93	ツバメ	90
2	スズメ	113	ツバメ	84	キジバト	85	キジバト	80	スズメ	83	スズメ	81
3	キジバト	84	キジバト	76	ツバメ	85	スズメ	77	キジバト	69	キジバト	70
4	ヒヨドリ	80	ヒヨドリ	72	ヒヨドリ	55	ドバト	68	ドバト	57	ドバト	48
5	カルガモ	51	ゴイサギ	51	ドバト	45	ニホンジカ	62	ヒヨドリ	51	ヒヨドリ	47
6	ドバト	46	コサギ	40	ムクドリ	44	ヒヨドリ	51	ムクドリ	42	カルガモ	39
7	タヌキ	42	シジュウカラ	40	カルガモ	32	ムクドリ	45	カルガモ	35	タヌキ	38
8	ニホンジカ	30	タヌキ	39	タヌキ	31	タヌキ	42	イワツバメ	34	イワツバメ	30
9	メジロ	29	ムクドリ	33	イワツバメ	26	ハクビシン	33	ハクビシン	34	ハクビシン	30
10	ムクドリ	26	カルガモ	31	ニホンジカ	20	イワツバメ	27	ニホンジカ	32	メジロ	26

表4 地区・市町村別保護点数(2003年度)

地区	市町村名	鳥類	哺乳類	総計	地区	市町村名	鳥類	哺乳類	総計
横浜	横浜市	15	0	15	湘南	寒川町	16	0	16
川崎	川崎市	7	0	7	足柄上	南足柄市	7	0	7
横須賀三浦	横須賀市	1	0	1		中井町	3	0	3
	鎌倉市	3	0	3		大井町	1	4	5
県央	相模原市	80	8	88		松田町	3	0	3
	厚木市	133	18	151		山北町	3	6	9
	大和市	17	3	20		開成町	3	1	4
	海老名市	27	1	28	西湘	小田原市	32	2	34
	座間市	14	2	16		箱根町	2	2	4
	綾瀬市	17	1	18		真鶴町	2	1	3
	愛川町	9	5	14		湯河原町	4	0	4
	清川村	16	17	33	津久井	城山町	3	0	3
湘南	平塚市	58	4	62		津久井町	6	8	14
	藤沢市	32	18	50		相模湖町	0	0	0
	茅ヶ崎市	25	3	28		藤野町	3	6	9
	秦野市	22	5	27	県外	県外	3	0	3
	伊勢原市	53	6	59	不明	不明	21	3	24
	大磯町	5	0	5		計	649	124	773
	二宮町	3	0	3					

表5 過去5年間の保護原因別頭羽数

鳥 類					
保護原因	2003年度	2002年度	2001年度	2000年度	1999年度
犬、猫等による	87	95	102	107	101
巣から落ちる	113	162	158	148	146
転落・衝突	121	147	156	155	88
交通事故	19	27	30	31	21
網、釣り糸等	6	14	16	15	15
わな（密猟・害獣駆除等）	0	1	12	8	8
誤認保護（誘拐）	14	41	21	44	45
伝染病・寄生虫症	0	0	0	2	1
違法飼育	10	0	0	3	24
その他	86	82	75	79	150
不明	193	147	131	130	186
計	649	716	701	722	785

哺乳類					
保護原因	2003年度	2002年度	2001年度	2000年度	1999年度
犬、猫等による	5	2	7	7	4
巣から落ちる	3	5	5	7	1
転落・衝突	15	8	12	3	2
交通事故	26	31	33	26	26
網、釣り糸等	1	4	0	2	1
わな（密猟・害獣駆除等）	9	12	21	9	8
誤認保護（誘拐）	2	5	2	6	4
伝染病・寄生虫症	20	16	30	15	21
違法飼育	0	0	0	0	0
その他	17	33	19	19	32
不明	26	22	38	15	24
計	124	138	167	109	123

全 体					
保護原因	2003年度	2002年度	2001年度	2000年度	1999年度
犬、猫等による	92	97	109	114	105
巣から落ちる	116	167	163	155	147
転落・衝突	136	155	168	158	90
交通事故	45	58	63	57	47
網、釣り糸等	7	18	16	17	16
わな（密猟・害獣駆除等）	9	13	33	17	16
誤認保護（誘拐）	16	46	23	50	49
伝染病・寄生虫症	20	16	30	17	22
違法飼育	10	0	0	3	24
その他	103	115	94	98	182
不明	219	169	169	145	210
計	773	854	868	831	908

表6 保護原因別転帰内訳(2003年度)

鳥 類								
保護原因	へイ死体	安楽死	移管	死亡	飼育中	放野	総計	放野率
犬、猫等による	0	0	2	58	4	23	87	26.4%
巣から落ちる	0	0	2	71	2	39	114	34.2%
転落・衝突	6	0	2	65	12	35	120	30.7%
交通事故	0	0	0	13	1	4	18	22.2%
網、釣り糸等	0	0	0	3	0	3	6	50.0%
わな(密猟・害獣駆除等)	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
誤認保護(誘拐)	0	0	0	10	0	4	14	28.6%
伝染病・寄生虫症	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
違法飼育	0	0	0	0	0	10	10	100.0%
その他	0	0	0	47	3	36	86	41.9%
不明	16		4	115	13	46	194	25.8%
計	22	0	10	382	35	200	649	31.9%

哺乳類								
保護原因	へイ死体	安楽死	移管	死亡	飼育中	放野	総計	放野率
犬、猫等による	2	0	1	1	0	1	5	33.3%
巣から落ちる	0	0	0	2	0	1	3	33.3%
転落・衝突	1	1	0	11	0	3	16	20.0%
交通事故	8	2	0	10	0	6	26	33.3%
網、釣り糸等	0	0	0	1	0	0	1	0.0%
わな(密猟・害獣駆除等)	0	0	0	2	0	7	9	77.8%
誤認保護(誘拐)	0	0	0	2	0	0	2	0.0%
伝染病・寄生虫症	0	0	0	14	3	3	20	15.0%
違法飼育	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
その他	4	0	0	2	0	11	17	84.6%
不明	4	0	0	11	2	8	25	38.1%
計	19	3	1	56	5	40	124	38.1%

全体								
保護原因	へイ死体	安楽死	移管	死亡	飼育中	放野	総計	放野率
犬、猫等による	2	0	3	59	4	24	92	26.7%
巣から落ちる	0	0	2	73	2	40	117	34.2%
転落・衝突	7	1	2	76	12	38	136	29.5%
交通事故	8	2	0	23	1	10	44	27.8%
網、釣り糸等	0	0	0	4	0	3	7	42.9%
わな(密猟・害獣駆除等)	0	0	0	2	0	7	9	77.8%
誤認保護(誘拐)	0	0	0	12	0	4	16	25.0%
伝染病・寄生虫症	0	0	0	14	3	3	20	15.0%
違法飼育	0	0	0	0	0	10	10	100.0%
その他	4	0	0	49	3	47	103	47.5%
不明	20	0	4	126	15	54	219	27.1%
計	41	3	11	438	40	240	773	32.8%

